

第59回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

9月19日(木) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

11:00-12:00 特別講演1 ASL1

座長：堀江 義則 (医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック)

ASL1 糖嗜好性における腸内細菌の役割
金井 隆典
慶應義塾大学医学部消化器内科

9月19日(木) 第2会場 [木曾(1F)]

9:20-10:50 シンポジウム1 AS1

研究成果の国際発信：
アソシエートジャーナルNeuropsychopharmacology Reports誌の活用法

オーガナイザー：池田 和隆 ((公財) 東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野)

座長：池田 和隆 ((公財) 東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野)

新田 淳美 (富山大学学術研究部 薬学・和漢系 薬物治療学研究室)

AS1-1 Neuropsychopharmacology Reports誌の創刊主旨と活用法
宮川 剛
藤田医科大学・医科学研究センター

AS1-2 国際学術誌の動向 ～Open Accessとself-promotionを中心に～
山田 麻未
Wiley Publishing Japan株式会社

AS1-3 Neuropsychopharmacology Reports誌の査読者および著者の視点から
菅谷 渚
労働安全衛生総合研究所 産業保健研究グループ

AS1-4 アルコール・アディクション研究におけるNeuropsychopharmacology Reports誌(NPPR)の役割
堀江 義則
医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック

指定討論者 アルコール・アディクションの心理学的研究におけるNeuropsychopharmacology Reports誌の役割
原田 隆之
筑波大学 人間系

9月19日(木) 第3会場 [穂高(3F)]

9:20-10:50 シンポジウム2 AS2

**ハームリダクションに基づく支援における重要な要素：
当事者・家族・支援者を対象としたインタビュー調査**

オーガナイザー：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)
水野 聡美 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 国立精神・神経医療研究センター (NCNP))
座長：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)

AS2-1

**ハームリダクションに基づく支援の導入・普及に関する研究：
グループインタビュー調査の実施背景と研究方法の説明**

水野 聡美¹⁾、堤 史織^{1,2)}、片山 宗紀^{1,3)}、新田 慎一郎¹⁾、大野 昂紀¹⁾、安間 尚徳⁴⁾、塩澤 拓亮⁴⁾、嶋根 卓也¹⁾、松本 俊彦¹⁾、高野 歩¹⁾

- ¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部
²⁾ 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 ³⁾ 横浜市こころの健康相談センター
⁴⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

AS2-2

**アルコール・薬物使用問題の経験がある当事者の視点からみるハームリダクションに基づく
支援において重要な要素**

堤 史織^{1,2)}、片山 宗紀^{1,3)}、新田 慎一郎¹⁾、水野 聡美¹⁾、大野 昂紀¹⁾、塩澤 拓亮⁴⁾、安間 尚徳⁴⁾、嶋根 卓也¹⁾、松本 俊彦¹⁾

- ¹⁾ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
²⁾ 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 ³⁾ 横浜市こころの健康相談センター
⁴⁾ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 地域精神保健・法制度研究部

AS2-3

**“大きな理想をもって、本当のハーム・リダクションを目指して”
ーアルコール・薬物の家族の視点から**

片山 宗紀^{1,2)}、堤 史織^{1,3)}、新田 慎一郎¹⁾、水野 聡美¹⁾、大野 昂紀¹⁾、塩澤 拓亮⁴⁾、安間 尚徳⁴⁾、嶋根 卓也¹⁾、松本 俊彦¹⁾、高野 歩¹⁾

- ¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾ 横浜市こころの健康相談センター
³⁾ 慶應義塾大学 健康マネジメント研究科 ⁴⁾ 国立精神・神経医療研究センター 地域精神保健・法制度研究部

AS2-4

“支援者の立場から考える”ハームリダクションに基づく支援における重要な要素

新田 慎一郎^{1,2)}、水野 聡美¹⁾、堤 史織^{1,3)}、片山 宗紀^{1,4)}、大野 昂紀¹⁾、塩澤 拓亮⁵⁾、安間 尚徳⁶⁾、嶋根 卓也¹⁾、松本 俊彦¹⁾、高野 歩¹⁾

- ¹⁾ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾ 誠心会 神奈川病院
³⁾ 慶應義塾大学 健康マネジメント研究科 ⁴⁾ 横浜市こころの健康相談センター
⁵⁾ 東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科
⁶⁾ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 地域精神保健・法制度研究部

9月19日(木) 第4会場 [六甲(3F)]

13:20-14:50 シンポジウム3 AS3

アスリートにおけるアディクションの実態と支援の課題

オーガナイザー：新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)

座長：森田 展彰 (筑波大学 医学医療系)

鶴身 孝介 (京都大学大学院 医学研究科)

AS3-1 国内外のアスリートのアディクションとその支援

鶴身 孝介

京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)

AS3-2 学生アスリートのアディクションの実態

新井 清美、近藤 協子

信州大学学術研究院保健学系

AS3-3 学生から職業としてのアスリート、引退後のキャリアから考えるアディクションのリスク

太原 靖一郎

共栄大学

AS3-4 トップアスリートの置かれる状況とメンタルヘルス

今井 恭子

早稲田大学スポーツ科学学術院

9月19日(木) 第4会場 [六甲(3F)]

15:00-16:30 シンポジウム4 AS4

インドネシアにおける薬物政策と治療・支援：
薬物依存症治療と地域におけるハームリダクション活動

オーガナイザー：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)

新田 慎一郎 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)

座長：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)

AS4-1 インドネシアにおけるハームリダクションの社会史

山田 千佳^{1,2)}

¹⁾ 京都大学東南アジア地域研究研究所 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

AS4-2 インドネシアの薬物政策と医療：保健省の役割と保健所における活動

高野 歩¹⁾、水野 聡美¹⁾、新田 慎一郎^{1,2)}、堤 史織^{1,3)}

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾ 誠心会 神奈川病院

³⁾ 慶應義塾大学 健康マネジメント研究科

AS4-3 インドネシアの医療機関における薬物使用障害患者への治療

水野 聡美¹⁾、堤 史織^{1,2)}、新田 慎一郎¹⁾、高野 歩¹⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

²⁾ 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

AS4-4

インドネシアの地域コミュニティにおけるハームリダクション活動

堤 史織^{1,2)}、水野 聡美¹⁾、新田 慎一郎¹⁾、高野 歩¹⁾1) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
2) 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

AS4-5

インドネシアのリハビリテーション施設における薬物依存症のリハビリテーション

新田 慎一郎^{1,2)}、水野 聡美¹⁾、堤 史織^{1,3)}、高野 歩¹⁾1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 2) 誠心会 神奈川病院
3) 慶應義塾大学 健康マネジメント研究科

9月19日 日 第5会場 [立山(3F)]

15:00-16:30 シンポジウム5 AS5

市販薬乱用：古くて新しい問題を再考する

オーガナイザー：森 友久 (星薬科大学 薬理学研究室)

座長：嶋根 卓也 (国立精神・神経医療研究センター (NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)
森 友久 (星薬科大学 薬理学研究室)

AS5-1

OTC医薬品の乱用についての基礎的検討

森 友久

星薬科大学・薬理学研究室

AS5-2

市販薬の乱用・依存とゲートキーパーとしての薬剤師

嶋根 卓也¹⁾、片山 宗紀^{1,2)}、榎原 幹夫³⁾1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 2) 横浜市こころの健康相談センター
3) 公益財団法人杉浦記念財団

AS5-3

若年層の重要な自殺リスク因子として過量服薬を精神医学的に考える

朴 秀賢

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

AS5-4

東京女子医科大学救命救急センターに搬送された、薬物過量服用患者の動向

並木 みずほ、池邊 怜寛、藤井 ひかり、大城 拓也、武田 宗和、森 周介

東京女子医科大学 救急医学

AS5-5

行動変容を実現するメディア活用戦略モデルの適用

河井 孝仁

東海大学文化社会学部広報メディア学科客員教授

9月19日(木) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

14:40-15:40 産業医研修会1 産業医研修1

事例にもとづく職場におけるアディクションと産業保健の展開

オーガナイザー：神田 秀幸 (岡山大学学術研究院 医歯薬学域公衆衛生学)

座長：神田 秀幸 (岡山大学学術研究院 医歯薬学域公衆衛生学)

産業医研修1-1 産業保健の場で直面するアルコールの課題

武知 弘子

味の素冷凍食品株式会社 人事部 労務グループ

産業医研修1-2 職場でのアルコール問題に対する産業医の視点

杉山 大典^{1,2)}

1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

産業医研修1-3 アルコール問題に対する産業保健と精神科との連携強化の必要性

宋 龍平^{1,2)}

1) 岡山県精神科医療センター 2) 株式会社CureApp

産業医研修1-4 職場のアルコール問題に対する労務管理

中川 聖明

ストローム経営管理事務所 特定社会保険労務士

9月19日(木) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

15:50-17:20 イブニングセミナー ES

人間にとって嗜好品とは何か：心理学から考える

オーガナイザー：廣中 直行 ((公財) 東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト)

座長：廣中 直行 ((公財) 東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト)

高野 裕治 (人間環境大学)

ES-1 未来の人間にとっての嗜好品の姿を考える

高野 裕治

人間環境大学総合心理学部

ES-2 嗜好品摂取によるストレス緩和効果を検証する

矢島 潤平

別府大学文学部人間関係学科

ES-3 嗜好品と創造性

福田 実奈

北海道医療大学

ES-4 レジリエンスの複雑さ、負の側面、嗜好品との関係

上野 将玄

公益財団法人 たばこ総合研究センター

9月20日(金) 第2会場 [木曾(1F)]

9:00-9:40 学術奨励賞受賞講演

座長：山田 清文 (名古屋大学 名誉教授、藤田医科大学 精神・神経病態解明センター 客員教授)

地域疫学研究における循環器病およびそのリスク因子に与える飲酒の影響の検討

平田 あや

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学

全体を取り扱う方法を考える

～アルコール健康障害の発生予防からアルコール依存症の治療まで

吉本 尚^{1,2)}

¹⁾筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター ²⁾筑波大学医学医療系 地域総合診療医学

9月20日(金) 第2会場 [木曾(1F)]

9:50-11:50 シンポジウム6 AS6

Future of tobacco and other nicotine-containing products: towards a smoke-free society
たばこ・ニコチン含有製品の未来：煙のない社会に向けて

オーガナイザー：高田 孝二 (東京慈恵会医科大学精神医学講座、帝京大学文学部心理学科)

廣中 直行 ((公財) 東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト)

座長：宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学精神医学講座、平川病院)

高田 孝二 (東京慈恵会医科大学精神医学講座、帝京大学文学部心理学科)

AS6-1

Smokeless tobacco and health consequences – the Swedish experience

Karl Fagerstrom

Fagerstrom Consulting

AS6-2

Designing a Smoke-Free Future: Evidence Supporting the Tobacco Heating System by PMI

Gizelle Baker

Philip Morris International

AS6-3

Scientific research on the alternative forms of tobacco and nicotine products

James Murphy

British American Tobacco

AS6-4

Towards the proper use of tobacco: Psychological considerations

Naoyuki Hironaka

Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

9月20日金 第3会場 [穂高(3F)]

13:10-14:40 シンポジウム7 AS7

物質使用と性感染症・性行動・セクシュアリティ(2)

オーガナイザー：高野 歩(国立精神・神経医療研究センター(NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)
嶋根 卓也(国立精神・神経医療研究センター(NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)

座長：嶋根 卓也(国立精神・神経医療研究センター(NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)
新田 慎一郎(国立精神・神経医療研究センター(NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)

AS7-1

覚醒剤依存症のゲイ・バイセクシュアル男性における支援ニーズ

新田 慎一郎^{1,2)}、嶋根 卓也¹⁾

¹⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾誠心会 神奈川病院

AS7-2

感染症をもつ薬物依存症ゲイ男性の健康的な性のあり方の当事者考察

石黒 弘人

特定非営利活動法人 八王子ダルク

AS7-3

物質使用と性感染症：MSMにおけるハイリスク行動への包括的アプローチ

谷口 俊文

千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科

AS7-4

NGOにおける薬物に関連した相談とその対応

生島 嗣¹⁾、三輪 岳史¹⁾、山口 正純²⁾、林 神奈³⁾、若林 チヒロ⁴⁾

¹⁾特定非営利活動法人ぶれいす東京 ²⁾博慈会長寿リハビリセンター病院 ³⁾サイモン・フレーザー大学
⁴⁾埼玉県立大学

9月20日金 第4会場 [六甲(3F)]

14:50-16:20 シンポジウム8 AS8

アディクション分野におけるデジタルヘルスの活用：臨床導入や社会実装に向けた取り組み

オーガナイザー：高野 歩(国立精神・神経医療研究センター(NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)
治徳 大介(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野(サイバー精神医学講座))

座長：高野 歩(国立精神・神経医療研究センター(NCNP) 精神保健研究所 薬物依存研究部)
治徳 大介(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野(サイバー精神医学講座))

AS8-1

ゲーム行動症関連をターゲットとした産学連携とデジタルヘルス

治徳 大介

東京医科歯科大学 サイバー精神医学講座

AS8-2

ログデータから読み解くスマホ依存：機械学習による分析と展望

内田 真人

早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科

AS8-3

アルコール使用障害に対する磁気刺激療法を用いた新規治療の開発

中島 振一郎

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

AS8-4

飲酒量低減治療アプリの治験結果と今後の展望

宋 龍平^{1,2)}

1) 岡山県精神科医療センター 2) 株式会社CureApp

9月20日(金) 第4会場 [六甲(3F)]

16:30-18:00 シンポジウム9 AS9

依存症・メディア報道・情報

オーガナイザー：宋 龍平 (岡山県精神科医療センター、株式会社CureApp)

座長：宋 龍平 (岡山県精神科医療センター、株式会社CureApp)

浅野 真 (朝日新聞(さいたま総局))

AS9-1

シンポジウム 依存症・メディア・情報提供 メディアの一員、そして当事者として

浅野 真

1) 朝日新聞社記者 2) アルコール依存症当事者

AS9-2

メディアによる薬物報道の問題 スティグマ強化からの脱却を目指して

岩永 直子

Addiction Report

AS9-3

NHKの福祉番組は依存症をどう伝えてきたか

海老沢 真

日本放送協会 コンテンツ制作局第1制作センター(福祉)

AS9-4

予防の倫理学から見た飲酒対策

児玉 聡

京都大学大学院文学研究科

9月21日(土) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

11:10-12:00 特別講演2 ASL2

座長：堀江 義則 (医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック)

ASL2 日本の経済、財政、税制
中西 健治
1) 自由民主党 2) 衆議院議員

9月21日(土) 第2会場 [木曽(1F)]

9:00-10:30 シンポジウム10 AS10

日本におけるハームリダクション医療を提言する

オーガナイザー：宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学精神医学講座、平川病院)
齋藤 利和 (博友会平岸病院、札幌医大名誉教授)

座長：宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学精神医学講座、平川病院)

AS10-1 アディクション治療をよりよいものとするためのハームリダクションとは
齋藤 利和¹⁾、宮田 久嗣²⁾
1) 社会医療法人博友会平岸病院 2) 慈恵医大・精神医学 平川病院

AS10-2 ハームリダクションをアルコール使用障害でどのように活用するか？
湯本 洋介
国立病院機構久里浜医療センター

AS10-3 ハームリダクションを行動嗜癖でどのように活用するか？
白坂 知彦、常田 深雪
手稲溪仁会病院 精神保健科

AS10-4 ハームリダクションを薬物使用障害でどのように活用するか？
成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

9月21日(土) 第3会場 [穂高 (3F)]

9:00-10:30 シンポジウム11 AS11

危険ドラッグの乱用・流通の現状と有害作用評価研究の最前線

オーガナイザー：船田 正彦 (湘南医療大学 薬学部)
富山 健一 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)

座長：船田 正彦 (湘南医療大学 薬学部)
富山 健一 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)

AS11-1 わが国における最近の危険ドラッグ流通実態状況

花尻 (木倉) 瑠理
国立医薬品食品衛生研究所

AS11-2 危険ドラッグの神経細胞毒性発現の蓋然性スクリーニング：
フェネチルアミン系薬物を中心に

浅沼 幹人、宮崎 育子
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経機構学分野

AS11-3 新規合成オピオイド系化合物の薬理作用の評価について

富山 健一¹⁾、船田 正彦^{1,2)}
1) 国立精神・神経医療研究センター 2) 湘南医療大学

AS11-4 薬物弁別試験を含めた行動変容から危険ドラッグの乱用予測と限界を考える

森 友久、成田 年
星薬科大学・薬理学研究室

AS11-5 危険ドラッグの有害性評価プラットフォームの構築と包括指定への応用

船田 正彦
湘南医療大学 薬学部

9月21日(土) 第3会場 [穂高 (3F)]

10:40-12:10 シンポジウム12 AS12

薬物依存症治療に関する国際支援：JICAフィリピンプロジェクト 最終報告

オーガナイザー：原田 隆之 (筑波大学 人間系)
白坂 知彦 (深仁会 手稻深仁会病院 精神保健科)

座長：原田 隆之 (筑波大学 人間系)
池嶋 健一 (順天堂大学大学院 医学研究科 消化器内科学)

指定討論者：高田 孝二 (東京慈恵会医科大学精神医学講座、帝京大学文学部心理学科)

AS12-1 JICAによるフィリピンにおける薬物依存症治療への国際協力

星 祐太、小澤 真紀、吉田 友哉
独立行政法人国際協力機構 人間開発部

AS12-2 治療プログラム概要と参加者・治療者の体験についてのインタビュー調査白坂 知彦¹⁾、金森 将吾²⁾¹⁾手稲溪仁会病院 精神保健科 ²⁾東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室**AS12-3** フィリピンにおける居住型認知行動療法の評価：ランダム化比較試験原田 隆之¹⁾、金森 将吾²⁾、白坂 知彦³⁾¹⁾筑波大学人間系 ²⁾東京大学大学院医学系研究科 ³⁾手稲溪仁会病院**9月21日(土) 第3会場 [穂高(3F)]****15:30-17:00 シンポジウム13 AS13****Hiromasa Ishii Memorial Symposium**

オーガナイザー：堀江 義則 (医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック)

菊池 真大 (旗の台病院 東海大学医学部附属東京病院 消化器内科)

座長：堀江 義則 (医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック)

菊池 真大 (旗の台病院 東海大学医学部附属東京病院 消化器内科)

AS13-1 慶應義塾大学医学部消化器内科と久里浜病院 (医療センター) の関係を振り返って

堀江 義則

医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック

AS13-2 久里浜でのアルコール依存症の治療・研究と石井裕正先生

樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

AS13-3 国立病院機構久里浜医療センターにおける慶応大学消化器内科「アルコール研究グループ」の研究の歴史

横山 顕

国立病院機構久里浜医療センター

AS13-4 アルコール使用障害に対する磁気刺激療法を用いた新規治療の開発

中島 振一郎

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

AS13-5 アルコール医療に残された次世代への課題菊池 真大^{1,2,3)}¹⁾用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック ²⁾旗の台病院 ³⁾東海大学医学部附属東京病院 消化器肝臓センター